

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	つみき第2分室		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 20日		2025年 1月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 20日		2025年 1月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	◆幅広い年齢層の他児との関わり 小学校1年生から高校3年生までのお子様と一緒に活動している	年齢の異なる他児と過ごすことで、日常生活に必要なスキル等を真似しながら習得したり、関わり方(上下関係)を学んだり出来るよう、他児との関わりを大切にしている。	事業所内だけでなく、他事業所や地域のお子様と関わる事が出来る活動を立案・実施していく。
2	◆プログラム内容の充実について	職員のみで準備するのではなく、お子様と一緒にプログラム等で制作し、準備の段階でも楽しさや達成感を味わえるようにしている。集団活動では、お子様に手本を行ってもらったり、活躍できる場の提供をしている。 職員間で事前に話し合った上で、様々な内容のプログラムを立案・実施している。	季節感を感じられるような取り組みを増やしていく。 研修や勉強会など様々な場へ出向いたり、各々の職員が勉強することでお子様や保護者様のニーズに沿ったプログラムを実施出来るようにしていく。
3	◆職場の雰囲気 風通しが良い職場の雰囲気作り	毎月の会議や日々の会話の中で、職員の悩みや困り事の確認を行い、働きやすさを追及している。 お互いの強みを活かせるよう役割分担を行いながら、支援や日々の業務にあたっている。	コミュニケーションを大切に、職員の強みを生かした支援ができるよう連携を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	◆日常生活スキルの幅広さ 小学校1年生から高校3年生までのお様が活動を行っている為、日常生活レベルが幅広い	年齢だけでなく、日常生活スキルの幅広いお子様に対して、個々に見合った内容の活動を提供する難しさがあること。	同じ内容の活動であっても、個々に応じた難易度の参加方法を考え、提供していく。個々の強みや課題の把握をしていく。
2	◆地域の場の活用や地域住民(子ども)との関わり	長期休暇には地域のイベントへの参加や公共施設、公園、店舗の利用等、地域との交流が図れているが、平日の支援では地域の場の活用や子ども達と交流する機会が提供出来ていないこと。	平日においても、可能な限り(下校時間が早い時等)公共施設を利用し、地域の場の活用や地域の方との交流を増やしていく。
3	◆保護者様同士の関わり・家族支援プログラム	保護者様同士が顔を合わせる機会が少ないこと。	保護者会やペアレントトレーニングを開催し、保護者様同士の関わりや相談の場を提供していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 つみき第2分室

公表日 2025年3月19日

利用児童数 32名

回収数 22名

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22					限られたスペースを広く使えるよう、物の配置を工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	2				東京都の配置基準を満たしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	1				毎日、必ず清掃を行っています。また、玩具やドアノブの消毒を行い清潔で心地よく過ごせるよう工夫をしています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1				月2回職員会議を行い、共通理解を深めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1				・半期ごとに個別支援計画を作成し、期末には振り返りを行なっています。保護者の方にはその都度配布しご確認いただいております。面談などを実施し、より丁寧な説明や情報共有が出来るよう、心掛けていきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1	1		・子どもから「楽しくない」と言われたため、この回答にさせていただきました	今年度は通常の活動に加え、理学療法士や言語聴覚士の設定活動を取り入れました。活動を楽しんでもらえるよう、職員一同さらに工夫していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	7	7	2	・交流を希望していないので、なくても良いです ・なくていいと思います	定型発達児童が通う施設との交流は実施していません。公園や図書館等で開催の場面があります。
保護者 への	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22					利用契約時に説明をしています。ご不明な点等があれば、その都度ご説明させていただきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	2				年一回、面談を実施できるようにお便りを配布しています。面談の中では計画書に沿った説明をしています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	1	1	4		今年度はペアレントトレーニングの実施はしていません。次年度以降、機会を設けられるよう企画していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21		1			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21		1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	2	3	2		保護者の方と送迎時や面談、電話等を通じゆっくり話をするなどして、保護者の方のニーズや悩み等を十分聞き取り、職員間でも共有しながら支援の方向性を統一していきます。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	2		2	・兄弟がないのでわかりません	保護者会を実施しました。その中で活動体験やお悩み相談・情報交換を行うことができました。より多くの方に参加していただけるよう日程を早めにお知らせできるようにしていきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	2		2		相談や申入れがある際は、迅速かつ誠実に対応できるよう心がけていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	1		3		電話・メールにて情報の伝達を行っています。LINEの活用を検討していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	1		3		法人としては不定期で『つみき新聞』を発行しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1	1			各種マニュアルは策定しておりますが、周知が不十分だと認識しております。HPへの掲載等、対応策を検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1		6		避難訓練を実施しています。実施した際は保護者の方にもお知らせいたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			2		事故等が発生した際は、迅速かつ正確に連絡、対応できるよう心がけていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21		1			1人ずつに寄り添い丁寧な支援を心がけていきます。お子さんの安心できる場となるよう、努力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1				今回いただきましたご意見を踏まえ、支援の充実に一層努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		つみき第2分室				公表日		2025年 3月 19日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		東京都の配置基準を満たしています。 利用児の様子や活動内容によって、人手が必要な場合は、柔軟な応援体制を組んで対応していきます。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	5	・手すりやマットを敷いたりして安全に過ごせるように工夫しています。	事業所が建物の2階にあるため(エレベーター無し)、階段昇降が可能な方の利用とさせていただきます。 階段昇降時は、安全に昇降する見守りを行っている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2	毎日、清掃・消毒を行っています。	担当職員を決めて、普段行き届かない場所も清潔で心地よく過ごせるよう管理・工夫していきます。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	カームダウンハウスが導入され、必要に応じて使用できるようになっています。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	常勤・非常勤問わず、可能な限り全ての職員が会議に参加できるように調整をしています。	会議に参加出来ない場合は後日情報伝達が正確にできるよう体制を整えていきます。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	職員会議にて左記の機会を設けています。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	1	第三者評価を実施しました。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	定期的に研修の機会を設けています。 今後も職員の資質向上に努めてまいります。				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	HPIにて公表しています。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	職員会議にて左記の機会を設けています。	会議に参加出来ない場合は後日情報伝達が正確にできるよう体制を整えていきます。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	太田ステージを標準ツールとして活用しています。				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0					

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	2	その都度、職員間で話し合い活動案を作成しています。 特に長期休み時は綿密に作成しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	理学療法士や言語聴覚士の活動を取り入れました。	平日活動時は特に固定化してしてしまうことの無いよう、短時間でも楽しめる活動を工夫しながら実施していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	毎日必ず打ち合わせをしています。 活動内容、支援内容、役割分担を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	必ずではないが、気付いた点は職員間で共有しています。	記録等、事務の多さから振り返りの時間が減少傾向にあるので、事務を効率化し、振り返りの時間が作れるように工夫していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	3カ月に一度評価を行い、職員間で確認・検討・見直しをしている。 その都度、保護者の方にも確認していただいている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	2		サービス担当者会議が開かれる機会がありませんでした。サービス担当者会議が開かれる際には、最もふさわしい職員が参加します。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	4		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	引継ぎ時に情報共有を行っています。 また、月1回王子特別支援学校主催の会議に法人の代表者が参加しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2	就学前に通っていた児童発達支援事業所（つみき第2）への見学や情報の共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	2	児童発達支援センター主催の会議・研修に代表者が参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	定型発達児童が通う施設との交流は実施していません。	地域のお祭り行事、公園や図書館などへ出向き、障害のない子どもと関わる期間を作っていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	各種会議に法人代表者が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	今年度はペアレントトレーニングを実施していません。	機会を設けられるよう企画していきます。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に説明しています。	契約時は書類が多いので、より丁寧な分かりやすい説明を心がけていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	計画書を作成後、保護者の方に確認していただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	年1回以上、面談を実施できるようお便りを配布しています。	いつでも相談をしていただけるように、職員一同研修等を通じてスキルアップをしています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0	保護者会を実施しました。悩み相談や情報共有をすることができました。	より多くの方に参加していただけるように、日程を早めに周知する等、工夫をしています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	「つみき新聞」を発行し、活動内容や行事内容を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	各種マニュアルは策定されています。	周知については改善が必要なため、会議や研修を通して職員間の周知に努めます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	BCPを策定しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	1	看護師の助言の元、確認しています。不定期ではあるが、事業所に看護師が巡回に来ています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	医師の指示書の提出は求めていません。保護者からの指示に従い、除去をしています。看護師の助言の元、対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	年に一度法人内のヒヤリハットを集計し、研修を行っています。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	職員研修を行っています。チェックリストを活動し、意識レベルを上げていきます。		

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	危険防止の為にやむを得ず行う可能性があることは個別支援計画書に記載・説明し保護者の了解を得ています。	
--	----	--	---	---	--	--